

## 平成29年8月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,632,648</b>	<b>200,025</b>	<b>986,969</b>	<b>37.5%</b>	<b>1,645,679</b>		
1. 営業収益	2,271,430	196,161	967,082	42.6%	1,304,348		
1. 給水収益	2,243,160	195,549	964,232	43.0%	1,278,928		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	28,270	612	2,851	10.1%	25,420		
2. 営業外収益	360,854	3,864	19,887	5.5%	340,967		
3. 特別利益	364				364		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,543,341</b>	<b>134,562</b>	<b>412,071</b>	<b>16.2%</b>	<b>2,131,270</b>	<b>770,357</b>	<b>30.3%</b>
1. 営業費用	2,291,121	88,454	365,831	16.0%	1,925,290	724,117	31.6%
1. 原水及び浄水費	483,842	31,077	132,031	27.3%	351,811	283,236	58.5%
2. 配水費	291,465	28,552	108,159	37.1%	183,306	166,005	57.0%
3. 給水費	113,124	8,294	27,530	24.3%	85,594	41,095	36.3%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,165	12,738	52,618	32.4%	109,547	149,005	91.9%
6. 総係費	163,592	7,793	45,493	27.8%	118,099	84,776	51.8%
8. 減価償却費	1,026,833				1,026,833		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	230,415	46,091	46,091	20.0%	184,324	46,091	20.0%
3. 特別損失	1,805	17	149	8.3%	1,656	149	8.3%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,820,621</b>	<b>1,555</b>	<b>7,022</b>	<b>0.4%</b>	<b>1,813,599</b>		
1. 企業債	1,069,400				1,069,400		
2. 負担金・補償金	297,951		1,449	0.5%	296,502		
3. 補助金	133,293				133,293		
4. 出資金	309,555				309,555		
5. 加入金	10,422	1,555	5,573	53.5%	4,849		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,050,300</b>	<b>155,694</b>	<b>185,638</b>	<b>6.1%</b>	<b>2,864,662</b>	<b>1,112,428</b>	<b>36.5%</b>
1. 建設改良費	2,368,052	14,090	44,035	1.9%	2,324,017	970,825	41.0%
1. 取水施設整備費	827,307				827,307	501,660	60.6%
2. 導水施設整備費	17,820				17,820		
3. 浄水施設整備費	190,018				190,018	20,639	10.9%
4. 送水施設整備費	122,713				122,713	78,840	64.2%
5. 配給水施設整備費	1,205,334	14,090	44,035	3.7%	1,161,299	369,686	30.7%
6. 消防設備整備費	4,860				4,860		
2. 企業債償還金	682,248	141,603	141,603	20.8%	540,645	141,603	20.8%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>47,324</b>	<b>1,845</b>	<b>7,298</b>	<b>15.4%</b>	<b>40,026</b>	<b>7,298</b>	<b>15.4%</b>
①有収水量	7,914,100	687,484	3,378,262	42.7%	4,535,838		
②供給単価	283.44	284.44	285.42	100.7%	△ 1.98		
③給水原価	321.14	195.71	121.93	38.0%	199.21		
<b>人件費</b>	<b>236,921</b>	<b>15,898</b>	<b>86,719</b>	<b>36.6%</b>	<b>150,202</b>		
1. 収益的収支	196,637	12,968	69,387	35.3%	127,250		
1. 職員給与費	195,387	12,727	68,878	35.3%	126,509		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	1,250	241	509	40.7%	741		
2. 資本的収支	40,284	2,930	17,332	43.0%	22,952		
* 職員給与費	235,671	15,657	86,210	36.6%	149,461		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	6.5%	7.1%				
2. 全職員	10.5%	8.0%	8.9%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>44,943,525</b>	<b>44,985,574</b>	<b>42,049</b>	
*減価償却累計額	18,794,440	18,794,440		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,292,328</b>	<b>3,689,603</b>	<b>397,275</b>	
1. 現金預金	2,594,861	3,024,274	429,413	
2. 未収金	576,010	216,236	△ 359,773	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,572	31,084	△ 2,488	
5. 前払費用・前払金	87,886	394,375	306,489	工事前払金等
6. その他		23,634	23,634	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>390,963</b>	<b>390,963</b>	
1. 営業費用		344,734	344,734	
2. 営業外費用		46,091	46,091	
3. 特別損失		138	138	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>51,805,091</b>	<b>52,635,378</b>	<b>830,287</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,808,703</b>	<b>11,808,703</b>		
1. 企業債	11,541,269	11,541,269		
2. 引当金	267,434	267,434		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,060,868</b>	<b>970,433</b>	<b>△ 90,435</b>	
1. 企業債	678,746	537,143	△ 141,603	H29年度償還元金
2. 未払金	219,482	210,176	△ 9,306	
3. 前受金	148,062	148,036	△ 26	
4. 引当金	14,186		△ 14,186	*賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	392	75,078	74,686	
うち仮受消費税		73,269	73,269	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,746,416</b>	<b>9,753,025</b>	<b>6,609</b>	
1. 長期前受金	9,746,416	9,753,025	6,609	償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,569,237	3,569,237		
<b>H. 資本金</b>	<b>10,178,427</b>	<b>10,178,427</b>		
1. 自己資本金	10,178,427	10,178,427		*固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>215,737</b>	<b>215,737</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		*非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	192,837	192,837		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>914,113</b>	<b>914,113</b>	
1. 営業収益		895,658	895,658	
2. 営業外収益		18,455	18,455	
3. 特別利益				
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>51,805,091</b>	<b>52,635,378</b>	<b>830,287</b>	
a. 供給単価 (円、銭)	264.28	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	107.94	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	248.11	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	75.79%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	85.46%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	380.15%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	311.64%	=現金預金÷流動負債		

\*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成29年 8 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,587	153,274	154,400	153,672	△1,126	△398
2 調定水量	m <sup>3</sup>	683,228	3,357,002	3,319,000	3,348,946	38,002	8,056
3 調定料金(税抜)	円	181,063,458	892,807,069	877,000,000	893,536,797	15,807,069	△729,728
4 口振加入件数	件	25,252	126,456	-	127,413	-	△957

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	81,723	-	81,720	3
6 給水件数	件	30,398	-	30,571	△173
7 開栓処理件数	件	220	1,542	1,588	△46
8 閉栓処理件数	件	254	1,403	1,364	39
9 給水工事設計審査	件	59	276	331	△55
10 給水工事竣工検査	件	91	369	486	△117
11 経年メーター交換	件	296	1,541	2,252	△711
12 メーター口径変更	件	0	12	23	△11
13 月末停止件数	件	0	7	4	3

3 料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	205,836,398 円	78.65 %	208,311,172 円	78.42 %
15 過年度分	5,339,772 円	97.15 %	5,310,790 円	97.26 %
16 全 体(計)	211,176,170 円	-	213,621,962 円	-

4 給水装置工事指定業者(増減無し)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	7	105	122	227

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	9/10	52/53	9/10	24/25	0/0	11/11	0/0	5/5	0/0	12/12	0/0	0/0
契約締結	一般	5	8	5	8	0	0	0	0	0	0	0
	指名	3	35	3	12	0	11	0	1	0	11	0
	随契	1	9	1	4	0	0	0	4	0	1	0
	合計	9	52	9	24	0	11	0	5	0	12	0

※入札中止 当月 2件:累計 2件/入札不調 当月 1件:累計 1件/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	5	2	工事
中間検査	3	1	工事
合 計	8	3	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	2日	8月 事業打合せ等
事業調整会議	3日	第5回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	8日	第5回 行事計画、日程調整等
水道事業連絡会議	9日	第5回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
水道ブースター会議	23日	8月期 管路管理の包括委託の概要について
給水拠点設置訓練	21日	8月期 豊里総合支所
経営分析会議	24日	7月分 各種経営分析等
例月出納検査	29日	7月分 例月出納現金検査
指名委員会	17・31日	第12回・第13回
入札会	3・31日	5件(うち2件中止)・7件
緊急メールの発出	-日	漏水5、水質1、取水3、破損1

特 記 事 項

1. 8月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は195,549千円(税込)で、前月期に比べて2,970千円の増で、予算執行率(累計)は43.0%(前年度42.5%)、対前年同月比(累計)では788千円の減となっています。営業収益は手数料収益612千円を含む196,161千円、営業外収益は事務手数料3,762千円を含む3,864千円となりました。

当期の営業費用は88,454千円を執行し、累計額は365,831千円、予算執行率(累計)は16.0%(前年度14.8%)となりました。営業外費用では企業債利息に46,091千円、特別損失では放射性物質検査料17千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金1,555千円を執行し、執行率(累計)は0.4%(前年度9.4%)でした。

支出は、配給水施設整備費に13,129千円、企業債元金償還に141,603千円を執行し、累計では184,676千円となりました。執行率(累計)は6.8%(前年度5.0%)でした。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,845千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 平成29年度 第1回登米市水道事業運営審議会を開催

8月2日(水)に平成29年度第1回登米市水道事業運営審議会を開催しました。昨年度末で前委員の任期が満了となり、今年度、新たに委員委嘱を行い、各委員へ熊谷市長から委嘱状の交付を行いました。委員は公募で3名、市内の各種団体推薦で4名、大口需要家から1名、学識経験者2名の計10名で、平成30年度までの2年間にわたり水道事業における課題について審議していただきます。

会長には山田一裕氏(東北工業大学教授)が選任され、熊谷市長から諮問書が手渡されました。諮問内容は「地域水道ビジョンについて」「施設更新計画並びに経営戦略の策定について」「主要事業並びに予算等について」「水道事業の課題について」の4項目で、今後これらについての答申をいただきます。

特に、経営戦略については総務省から策定を求められているもので、施設更新計画と併せて今年度中の完成を目指しており、年度内に審議並びに答申をいただけるよう策定中です。

また、報告として「水道ビジョンについて」「平成29年度予算について」「平成28年度決算について」の説明を行い、審議していただきました。



委嘱状の交付



会議の様子

(2) 登水研特別研修会に参加



研修会の様子

8月25日(金)に登米市水道事業研究会(登水研)主催の特別研修会が開催され、水道事業所からも職員が参加しました。同研究会は水道事業に携わる企業や水道事業所の希望者が参加し、勉強会等を定期的に行っているものです。今回の研修会には水道事業所でも後援を行いました。

講師に岩手県立大学名誉教授の天野巡一氏を向え、市長部局や民間企業からの参加者も含め、約50名が「政策法務」について学びました。

(3) 業務委託に係る視察を受け入れ

8月1日(火)に一関市水道部からの水道料金徴収に係る業務委託についての視察を受け入れました。一関市では平成32年度からの業務委託を考えており、契約までの流れやプロポーザルの実施基準、委託後の人員数やモニタリングの体制等、多岐にわたり質疑応答を行いました。

また、8月23日(水)・30日(水)には栗原市上下水道部からの給水装置等管理業務委託並びに水道ビジョン策定についての視察に対応しました。

# 平成29年 8月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	844,086	4,218,934	4,127,970	4,222,793	90,964	-3,859
総配水量	779,056	3,953,019	3,897,570	4,044,821	55,449	-91,802
1 有効水量	735,082	3,617,916	3,591,450	3,610,800	26,466	7,116
(1)有収水量	678,484	3,378,262	3,340,000	3,370,188	38,262	8,074
(2)無収水量	47,598	239,654	251,450	240,612	-11,796	-958
2 無効水量	43,974	335,103	306,120	434,021	28,983	-98,918
(1)漏水量	43,734	334,023	303,000	432,724	31,023	-98,701
(2)その他無効水量	40	210	120	201	90	9
3 有収率	88.25%	85.46%	85.69%	83.32%	-0.23	2.14

※当月期の最大配水量は、2日(水)に記録した【26,610m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	732,256	3	406,609	0	0	325,647	55.5%
イ 導水施設整備事業	1	17,820	0	0	0	0	17,820	0.0%
ウ 浄水施設整備事業	14	190,018	5	20,638	0	0	169,380	10.9%
エ 送水管整備事業	1	98,010	1	56,430	0	0	41,580	57.6%
オ 配給水施設整備事業	54	1,007,975	15	151,253	10	43,073	813,649	19.3%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査 ※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 9)	石越町水系 (測定戸数: 1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 2)
平均	0.84	0.40	0.39	0.53	0.50
最低	0.80	0.11	0.10	0.50	0.25
最高	0.90	0.74	0.70	0.60	0.58

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度 (Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度 (Bq/Kg)	
		セシウム 134	セシウム 137			セシウム 134	セシウム 137
保呂羽浄水場	H29.8.18	<0.8	<0.9	米谷水系浄水場	H29.8.18	<0.7	<1.0
石越浄水場	H29.8.17	<0.6	<0.9	楼台水系浄水場	H29.8.18	<0.6	<0.7
大萱沢浄水場	H29.8.18	<0.9	<0.7	合の木浄水場	H29.8.18	<0.7	<0.7
米川水系浄水場	H29.8.18	<0.8	<0.9	大綱木浄水場	H29.8.18	<0.7	<0.7
錦織水系浄水場	H29.8.18	<0.6	<0.8	—	—	—	—

## 特 記 事 項

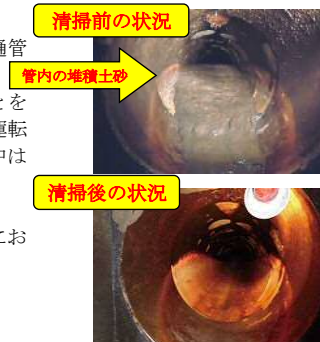
### 1 津山町内で時間あたり10m<sup>3</sup>の漏水を発見(修繕工事報告)

- 8月9日(水)に津山町横山地区において漏水調査を実施しました。  
これは、配水施設等維持管理業務の受託者が実施したもので、浄水施設等管理運転業務で毎日の流量情報を把握しており、その情報を基に漏水の可能性が高い地域の調査を行いました。  
水道の使用水量の少なくなる夜間に、仕切弁の操作と音聴調査をしたところ、横山郵便局付近の生活道路内で給水管 (PP20) から時間あたり5m<sup>3</sup>の漏水を発見し、翌10日(木)に受託者により漏水修理工事を実施しました。  
その結果は下の横山地区の流量表のとおりで最小配水流量5m<sup>3</sup>の減少となりました。
- 8月17日(木)に津山町柳津地区内で漏水修理工事を実施しました。  
これは、住民からお客様センターにあった情報を基に調査をしたところ、柳津字本町地区内(民地内)給水管 (PP13) からの漏水と分かり、工事を実施したものです。  
7月下旬から柳津地区内の最小配水流量が増加していましたが、その原因の判明となりました。  
工事完了翌日の最小配水流量の変動は下の柳津地区流量表に示すとおりで5m<sup>3</sup>減少しました。  
漏水を減らすことは水道の安定供給を図ることに直接関係しますので、今後も浄水コストの削減と有収率の向上を目指し、業務受託者間の連携を図り実施して参ります。



### 2 石越浄水場「大巻取水場」堆積土砂除去

8月23日から24日石越浄水場大巻取水場の取水樋管において、樋管内に堆積した土砂約10m<sup>3</sup>の除去作業を実施しました。  
同作業は、河川に堆積した土砂が樋管に流入し取水の障害となることを未然に防止し、安定した取水を図るための作業です。「浄水施設等管理運転業務受託者(明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体)」が実施し、作業中は取水を停止しての作業となりました。  
作業中は、保呂羽浄水場から連絡管で水道水を供給しています。  
なお、8月22日(火)大綱木浄水場並びに合ノ木浄水場の取水口においても清掃作業を実施しています。



### 3 平成29年8月の漏水調査結果について

8月末の漏水調査の結果48件56.226m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85.7%を目標に調査を実施します。

### 4 地震発生状況

平成27年5月13日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生しておりません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	21	33.49
	付属施設	2	0.02
	給水管	25	22.716
	計	48	56.226